

施設の有効利用



ここでは、デイ事業所の建物・設備・人などの有効利用について提案していきます。

NPO法人日本介護福祉教育研修機構 理事長
日本通所ケア研究会 会長

せ お ひろ ゆき
妹尾 弘幸

1 デイの売り上げ増大の手法

デイの1ヶ月の売り上げは「1人当たりの介護報酬単価×1回当たりの利用者数×回転数」です。

$$\begin{aligned} &1\text{ヶ月売り上げ} = \\ &1\text{人当たりの介護報酬単価} \times 1\text{回} \times 1\text{利用者数} \\ &\times \text{回転数} \end{aligned}$$

従って1ヶ月の売り上げを増やすためには、次のいずれかの対策が必要になります。

- (1) 1人当たりの介護報酬単価の上昇
- (2) 1回当たりの利用者数の増加
- (3) 回転数の増大

(1)の1人当たりの介護報酬単価を上昇させるためには、重度者の受け入れ、各種加算の算定が必要です。

(2)の利用者数を増加させるためには、定員数の増加、利用率の向上（欠席者の減少）が必要です。

(3)の回転数を増大させるためには、営業日の増加、1日の単位数増加が必要です。

今回は、施設の有効利用という視点から、(3)の回転数について紹介します。

2 回転数の増大

回転数の増大により収入が増大すると1人の1回当たりの事業所代が安くなります。回転数を上げるためには、①営業日の増加、②1日の単位数の増加が必要です。

① 営業日の増加

営業日の増加とは、例えば月曜日から金曜日の週5日の営業を月曜日から土曜日の週6日に変更したり、年中無休で営業するなど、営業日数を増加させることです。

〈資料〉 平成18年4月 介護保険制度改定Q&Aより

(問)実績規模別報酬について、利用者等のニーズに応じて日祝日にも実施している事業所が不利となるが、これらの事業所の算定特例は認められないのか。

(答)利用者の日祝日にサービスを受けるニーズに適切に対応する観点から、実績規模別の報酬に関する利用者の計算に当たり、正月等の特別な期間を除いて毎日事業を実施している事業所については、一週当たりの利用延人員数に6/7を乗じた数を合算したものにより、月当たりの平均利用者数を計算し、当該利用者数に基づき実績規模別の報酬を算定する取扱いとする。

② 1日の単位数の増加

1日の単位数増加とは、1日に実施するデイの単位数を増やすことです。例えば、同じ時間帯で1単位20名だったのを2単位40名で実施する、午前に1単位・午後に1単位の計2単位を実施するなどです。

このとき注意することは、事業所規模の区分です。小規模(月の延べ利用者数：300名まで)から通常規模(同：300～750名)への移行で約15%、通常規模から大規模Ⅰ(同：750～900名)、大規模Ⅰから大規模Ⅱ(同：900名以上)への移行でそれぞれ約3%、本体単位数が低下します。そのため、利用者数の増加がこの数字以下だと売り上げが減少

することもあります。規模算定には、以下のような特殊条件があるので覚えておきましょう。

- ① 3～4時間は利用者数を1/2で算定、4～6時間は3/4で算定する
- ② 前年度実績6ヶ月未満および前年度から定員を25%以上変更する場合は、利用定員の90%で計算する
- ③ 前年度の1ヶ月の平均利用延べ人数は3ヶ月を除いて計算する(4月～翌2月)[※]

※各区分境界線上にあると思われる事業所は、年始の1月中に月平均延べ利用者数を計算しておきましょう。

3 回転数を上げる例

このほかにもいろいろなケースが考えられます。利用者ニーズに即したシステムを考えましょう。

1) 1日2回転 現在、急増しているデイ

対象者	要支援1、2と要介護1程度の軽度者	
実施状況	【1日2単位実施】	
	午前 9:00 }	9:00 バイタル・お茶 9:30 体操・トレーニング 10:30 休憩・お茶 11:00 体操・トレーニング 12:00 休憩・体調チェック 12:15 終了 帰宅
	午後 13:00 }	13:00 バイタル・お茶 13:30 体操・トレーニング 14:30 休憩・お茶 15:00 体操・トレーニング 16:00 休憩・体調チェック 16:15 終了 帰宅
入浴	なし	
食事	なし	

2) 1日2回転 午後から自由

対象者	要支援者	
実施状況	【1日2単位実施】	
	午前1 9:00～10:30 午前2 10:45～12:15	午前はデブプログラムを実施
	午後 12:15～	午後は自主事業として自由に活動 (みんなで外食、外出、映画を見に行くなど)

3) 1日3回転

対象者	要支援者	
実施状況	【1日3単位実施】	
	1回目 8:30～11:40	運動中心 午前中運動をして、午後から自宅で過ごしたい方向け
	2回目 11:45～15:00	食事中心 美味しい食事を食べ、低栄養の改善をしたい方向け
	3回目 16:00～19:15	預かり中心 家族の仕事などの都合で、遅くまで預かってほしい方向け

4) 一部1回転 一部2回転

対象者	要支援者、要介護者1～5	
実施状況	【一部1単位、一部2単位】	
	9:30～16:00	定員20名中10名は介護度が重い人
	9:30～12:40	定員20名中10名は介護度が軽い人 (要支援者、要介護度1程度)
	12:50～16:00	